

令和5年度第1回4機構公共工事入札監視委員会 議事概要

開催日等	令和5年12月15日(金) 10:00~12:00 Web会議形式(Zoom)による開催	
委員	委員長 竹内 啓博(公認会計士) 委員 溝内 健介(弁護士) 委員 鈴木 正一(国立大学法人施設担当部次長)	
幹事機関	大学共同利用機関法人自然科学研究機構	
審議対象期間	令和4年4月1日~令和5年3月31日	
審議対象抽出案件	5件	(備考) 抽出案件の個別審議については、次頁のとおりである。 対象案件の審議は次頁に示したとおり、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。
建設工事	4件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0件	
一般競争入札 (上記を除く)	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	別紙のとおり
	回答等	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件

番号	機 関 名 (発注部局)	建設工事及び設計・コンサルティング業務 の名称
1	人間文化研究機構 (本部事務局)	(城内) 国立歴史民俗博物館 基幹・環境整備(給排水設備改修) 工事
2	自然科学研究機構 (国立天文台)	(三鷹) 開発棟2号館クリーンルーム改修工事
3	高エネルギー加速器研究機構 (本部)	P F - A R 地区等基幹整備(空気調和機更新) 工事
4	情報・システム研究機構 (国立遺伝学研究所)	研究実験R棟(西棟) 改修電気設備工事
5	高エネルギー加速器研究機構 (本部)	先端計測実験棟改築その他設計業務

意見・質問	回答
<p>議題1：4 機構において発注を行った建設工事について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不落随契の中で再公告はどのくらいあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再公告については、調査していない。追って確認して回答する。
<p>議題2：4 機構において発注を行った設計・コンサルティング業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<p>—</p>
<p>議題3：随意契約（不落随契を除く）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間文化研究機構の防水改修工事は、分割発注に当たらないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 件目は緊急修繕によるもので、2 件目は予算確保後の防水保証を得るための随意契約となっており、状況が異なり、分割発注にはならないと考えている。
<p>議題4：指名停止等の措置状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<p>—</p>
<p>議題5：審議対象建設工事及び設計・コンサルティング業務の抽出結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<p>—</p>
<p>議題6：建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について</p>	
<p>1. 人間文化研究機構（事務局） （城内）国立歴史民俗博物館基幹・環境整備（給排水設備改修）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工期延長しているが、発注時の工期設定は3 か月なのか？ ・随意契約は、2 者の見積を比較したのか。 ・「履行期限を除くほか、最初競争に付するときに定めた条件を変更することができない。」という規定から外れるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰越手続き上、当初契約は年度内としており、全体の工期は6 か月程度としている。 ・当機構での施工実績のある2 者に見積を依頼したが、1 者は辞退した。 ・本件については、2 回の入札執行後も、予定価格に至らなかったことから、規定に基づき工事内容・条件、予定価格を変更せず、随意契約を試みたものの、不落となったため、発注行為を終了し、改めて工事内容・条件及び予定価格を再精査し発注を行ったもので、再発注にあたり施工期間の確保が難しくなったことから「急速に契約をしなければ、契約をする機会を失い、又は著しく不利な価格をもって契約をしなければならないこととなるおそれがあること。」の規定に基づき、随意契約とした。

<p>2. 自然科学研究機構（国立天文台） （三鷹）開発棟2号館クリーンルーム改修工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件は再公告の案件とのことだが、1回目の等級の設定はA等級のみか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目、2回目ともにA,B,C等級を設定し、実績として認める対象期間を過去20年までを有効とするなど緩和していたが、再公告では、更に同種工事の面積要件を外した。
<p>3. 高エネルギー加速器研究機構（本部） PF-AR地区等基幹整備（空気調和機更新）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点調査を実施しているが原因は何か。 ・重点調査では、不足や修正、追加資料の提出を依頼することはあるか。 ・苦情申し立てはなかったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が努力しすぎた結果であると考ええる。機器類の査定率の差と思われる。 ・最終版として提出してもらっているため、再提出等は求めない。 ・なかった。
<p>4. 情報・システム研究機構（国立遺伝学研究所） 研究実験R棟（西棟）改修電気設備工事 【不落随契 1者応札】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格の確認において1者失格とした理由は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定技術者の施工経験について、本件で求める実績がコリンズ等により確認できなかったため失格とした。
<p>5. 高エネルギー加速器研究機構 先端計測実験棟改築その他設計業務 【一者応募】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「技術提案書の提出者の能力」における主要業務の実績については、同種業務、類似業務以外の実績を求めているのか。 ・技術提案書評価において、合格の基準点等は設けられていないのか。 ・上に関連して、複数社であれば、点数による競争は働くが、一者の場合は何点であっても合格するため、制度上問題ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定技術者の同種業務・類似業務の実績以外の実績であれば、提出を認めている。 ・基準点は設けてない。 ・今後の検討課題とする。

<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一者応札で苦勞していると思われるが、地域要件の範囲を関東圏だけではなく、隣接する他の地域圏まで広げることはしないのか。 ・各機関ともに一者応札が多いが、配置予定技術者の要件について、規模が小さい工事等では、同種工事の経験がなくても可能とするような緩和を検討したことはある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その実績はない。関東圏のみを対象としている。 ・研究機関の特性上、技術者の要件を緩和することは、難しいと考える。ただ、可能な限り門戸は開いた仕様等になっている。
<p>【抽出案件の審議結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各審議において、委員として確認したい事項を確認できたことから、特段問題となる事項はなかった。 	
<p>議題7：その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に意見なし 	<p>—</p>